

特定非営利活動法人海の自然史研究所
第4期 事業報告

■事業の概況

第4期は、教育事業では、海の科学教育プログラム MARE の全国水族館や海のビジターセンターとの協働による実施普及が中心活動となりました。研究事業では、学術研究分野および教育普及啓発に関する活動で一定の業績を挙げることができました。

■教育事業概要

1. MARE の普及および実践

1) 日本版 MARE 制作: 日本財団助成

2009年3月末までに、「海辺でハプニング」「君はアシカか?アザラシか?」「アサリのすべて」「ザリガニ大研究」「魚をつくろう!」「ミロンガ、ミロンガ」のティーチャーズガイドの完成を目指しています。

2) MARE プログラム補助教材の製作: 日本財団助成

ティーチャーズガイド制作と同時に、各プログラムの補助教材を製作しています。

3) 「海を学ぼうプログラム」の開催: 日本財団助成

4) 大人向け MARE 体験会・意見交換会の開催: 日本財団助成

5) MARE 指導者養成講座(ワークショップ)の開催: 日本財団助成

日本各地の水族館や海のビジターセンターで MARE を活用した海を学ぼうプログラムを実施しました。同時にプログラムに興味を持ってもらうことを目的として、大人向けにいくつかのアクティビティの体験会を実施しました。以下、実施実績です。

1月7日	かごしま水族館で県内小学生に MARE 実施および体験会	今宮・平井
2月18日 ~19日	宮城県南三陸町 県立小学校で MARE 実施	今宮・平井
3月29日 ~30日	東京 学習院女子大学にて MARE 講習会	藤田・今宮・平井
5月22日	江ノ島水族館で MARE 実施 埼玉県の小中学校	今宮・平井
7月3日	千葉県立博物館・海の分館で実施 千葉県の小中学校に MARE 授業	今宮・平井
8月9日~ 10日	福井海浜自然センターで実施 1泊2日の海の自然体験・環境学習授業として MARE 実施	今宮・平井
8月12日	のと海洋ふれあいセンターで実施 石川県の小中学校夏のキャンプにて	今宮・平井
10月3日 ~4日	北海道えりも岬風の館で MARE 実施	今宮・平井
11月8日 ~9日	鹿児島で講習会実施 2日目にかごしま水族館で県内小学生に MARE 実施	藤田・今宮・平井
11月18日 ~19日	宮城県南三陸町 県立小学校で MARE 実施	今宮・平井
11月20日	宮城県南三陸町にて体験会・講習会実施	今宮・平井
11月23日 ~24日	東京で講習会実施	藤田・今宮・平井
12月3日 ~29日	しまね海洋館アクアスで県内小中学校に MARE 実施	今宮・平井
1月10日	名古屋港水族館にて MARE 実施	今宮・平井
1月11日~ 12日	名古屋で講習会実施	今宮・平井
1月24日 ~25日	東京で講習会実施	今宮・平井

2月14日 ～15日	沖縄で講習会実施	藤田・今宮・ 平井
---------------	----------	--------------

6)MARE サマーインスティテュートへの参加

本年は諸事情により、講習会には参加いたしませんでした。

7)コミュニケーションオーシャンサイエンスへの参加

本年は諸事情により、講習会には参加いたしませんでした。

8)MARE プログラムプロモーション活動

- ・2月29日～2日兵庫県家島で開催された海辺の環境教育フォーラムで、海の自然史研究所およびM.A.R.E説明のためのリーフレット配布と、ポスター掲示をおこないました。また分科会で活動報告をおこないました。
- ・11月14日に、山梨県清里でおこなわれる環境教育フォーラムのイベントで体験会を実施しました。

2.マリンラボキャンプ/海の科学体験(マリンラボ)キャンプの開催

本年は、キャンプを実施しませんでした。

3.「この先、海です」プロジェクト

「この先、海です」プロジェクトを、宮古島市と読谷村で実施しました。新年度になってから、宮古島市(総合博物館)・石垣市(石垣小4年)・読谷村(読谷小5年)にてプログラムを実施しています。

■研究事業計画概要

1.学術研究業績

2008年度は、以下の論文等と学会講演の研究業績を挙げました。

〈論文など〉

Craft, J.D., Russ, A.D., Yamamoto, M.N., Iwai Jr., T.Y., Hau, S., Kahiapo, J., Chong, C.T., Ziegler-Chong, S., Muir, C., Fujita, Y., Polhemus, D.A., Kinzie III, R.A. & Santos, S.R., 2008 Islands under islands: The phylogeography and evolution of *Halocaridina rubra* Holthuis, 1963 (Crustacea: Decapoda: Atyidae) in the Hawaiian archipelago. *Limnology and Oceanography*, 53:675-689.

Osawa, M., & Fujita, Y., 2008. Two new species of the genus *Turleania* McLaughlin, 1997 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, and a redescription of *Turleania balli* (McLaughlin & Haig, 1996). *Zootaxa*, 1753: 49-68.

Glenner, H., Hoeg, J.T., Grygier, M.J., & Fujita, Y., 2008. Induced metamorphosis in crustacean y-larvae: Towards a solution to a 100-year-old riddle. *BMC Biology*, 6: 21.

Baba, K., & Fujita, Y., 2008. Squat lobsters of the genus *Galathea* associated with comatulid crinoids (Decapoda: Anomura: Galatheidae) from the Ryukyu Islands, Japan. *Crustacean Research*, 37: 43-62.

Shimomura, M., & Fujita, Y., (in press). First record of the thermosbaenacean genus *Halosbaena* from Asia: *H. daitoensis* sp. nov. (Peracarida: Thermosbaenacea: Halosbaenidae) from an anchialine cave of Minamidaito-jima Is., in Okinawa, southern Japan. *Zootaxa*, 1990: 55-64.

Obuchi, M., Kogo, I., & Fujita, Y., 2009. A new brooding feather star of the genus *Dorometra* (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida: Antedonidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan. *Zootaxa*, 2008: 61-68.

Saito, T., & Fujita, Y. (in press). *Odontozona crinoidicola*, a new stenopodid shrimp (Decapoda: Stenopodidea: Stenopodidae) associated with a comatulid crinoid from Ryukyu Islands.

藤田喜久・砂川博秋, 2008. 多良間島の洞穴性および陸性十脚甲殻類 [Cavernicolous and terrestrial decapods crustaceans of Tarama-jima Island, the Ryukyu Islands, southwestern Japan]. 宮古島市総合博物館紀要, 12: 53-80.

藤田喜久・伊藤茜, 2008. ヤシガニツキ2: 貝殻を背負ったヤシガニの行動 [Notes on the behavior of shell-carrying coconut crab, *Birgus latro* (Linnaeus, 1758), reared in the laboratory]. *CANCER*, 17: 1-4.

鈴木廣志・藤田喜久・組坂遵治・永江万作・松岡卓司, 2008. 希少カニ類 3 種の奄美大島における初記録 [New records of three rare crabs in Amami-ohshima Island]. *CANCER*, 17: 5-7.

諸喜田茂充・藤田喜久・成瀬貫, 2008. 宮古の歴史を見てきた生き物たち—ミヤコサワガニの起源—, p.10-23. In: 宮古の自然と文化を考える会編「宮古の自然と文化 ミラクルに輝く八つの島々 第2集」, ボーダーインク, 200pp.

〈学会発表〉

藤田喜久・下村通誉, 2008. 南大東島の洞穴地下水域から発見されたテルモスバエナ目の一新種. 第45回沖縄生物学会大会, 沖縄.

藤田喜久, 2008. 「貝殻に入ったヤシガニ」の発見とグラウコトエ幼生の貝殻選択行動について. 第45回沖縄生物学会大会, 沖縄.

藤田喜久・今宮 則子・平井 和也・中野 義勝, 2008. 科学リテラシーを推進するための科学教育プログラム: 米国で開発された MARE と COS の例. 第79回日本動物学会, 福岡.

小淵正美・藤田喜久・中野義勝・上原剛・本川達雄, 2008. 雌雄同体性ウミシダ *Dorometra* sp. の繁殖生態. 2008年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 熊本.

下村通誉・藤田喜久, 2008. 南大東島から得られたテルモスバエナ目の一未記載種. 第46回日本甲殻類学会大会, 鹿児島.

藤田喜久, 2008. 研究成果を伝える新たな手法—体験型科学教育(環境教育)プログラムと甲殻類—(公開シンポジウム「甲殻類研究」を超えて: 研究成果の還元のあるかた). 第46回日本甲殻類学会大会, 鹿児島.

藤田喜久, 2008. 琉球列島における地下水性コエビ類の生息状況. 第46回日本甲殻類学会大会, 鹿児島.

永江万作・藤田喜久・鈴木廣志・組坂遵治・松岡卓司, 2008. 奄美大島および石垣島の飛沫転石帯に出現するカニ類. 第46回日本甲殻類学会大会, 鹿児島.

藤田喜久, 2008. サンゴ礁の華: 琉球列島におけるウミシダ類の種多様性. 第11回日本サンゴ礁学会大会, 静岡.

〈一般向け講演など〉

2008年11月11日 (東京学芸大学附属高校)「沖縄の生物多様性に挑む～種多様性の解明と自然環境の保全～」

2008年11月27日 東村役場(第3回東村エコツーリズム推進検討委員会)「慶佐次モニタリング 底性生物: モニタリング立案に向けて」

2008年12月19日 南大東中学校(1~3年生対象)「島と一緒に4800万年の旅? 南大東島のテルモスバエナ」

2009年1月15日 浦添市市役所「沖縄の自然環境とその価値: 水圏研究者の視点から」

2009年1月17日 宮古島市市役所(サンゴ礁生態系保全活動推進事業 宮古島ワークショップ)「宮古島の自然環境の重要性について: 水圏環境研究から」

2009年1月18日 宮古島市総合博物館(子供博物館6年生コース 第4回「宮古の水環境を守るためにできること!」)「この先海ですプロジェクト! 雨水溝や道路側溝のチリ(ゴミ)はどこに行く?」

2009年2月13日 読谷村(ネイチャーワークス) 海の生き物塾特別編「生物の名前」

〈博物館企画展協力〉

1. 宮古島市総合博物館にて国際サンゴ礁年特別企画展「宮古(みゃーく)の宝・サンゴ礁～サンゴって何?」(7月22日から8月31日)企画立案, パネル製作, 要旨集執筆

2. 平成 20 年度 宮古島市総合博物館こども博物館 6 年生コース

第1回(6月22日)「水」について学ぼう(プロジェクトWETを使用)

第2回(8月17日) サンゴ礁観察

第3回(10月26日) カニや魚の解剖・観察(MAREのサカナさかな魚を使用)

第4回(1月18日) 宮古の環境を守るためにできること!「この先、海です。」プロジェクト

■関連事項

関連する以下の活動をおこないました。

1月17日	学習院女子大学にて、水産高校先生向け MARE 体験会実施	藤田・今宮・平井
9月13日 ~16日	学習院女子大学の集中講義で MARE 実施	今宮・平井
11月19日	宮城県南三陸町にて、体験学習による地域づくりについての講演会	今宮・平井